

年度 2007 学期 後期	曜日・校時	金 4	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 German					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	M11		科目分類	外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員(科目責任者):古賀正之 /Eメールアドレス: /研究室:非常勤講師控室 /オフィスパワー:金曜日休み時間(教室内のみ)						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 <p>授業のねらい:現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。</p> <p>授業方法:時間ごとのテーマに即した会話表現を学習者自身が練習し、その後で役割に応じて口頭で発表する。さらに会話表現に出てきた文法事項の確認を学習者と教師で行う。また定期的にドイツ語圏を取り上げたビデオを見て、その内容についてレポートを提出することです。</p> <p>授業到達目標:基本単語を用いて口頭による日常的なコミュニケーションが取れること。初歩的な文法を理解し、運用できること。さらにドイツ語圏の社会と文化を簡単に説明できることです。</p>						
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) <p>授業内容(概要) ドイツ語 既習者を対象に、ドイツ語とは異なる初歩的な文法・基本単語および表現を用いて、自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また毎月1回ビデオ学習を行います。</p> <p>第1回 ドイツ語 の復習 第2回 ドイツの食生活を理解する / 食器等の名称を覚える 第3回 食を表現する形容詞を覚える / 人に何かを頼む表現を覚える 第4回 買い物する際の表現を覚える / 食料品の買い物ができるようになる 第5回 レストランでの注文・支払いができるようになる 第6回 家族用語を覚える / 職業名を覚える 第7回 性格や体型等を表現する形容詞を覚える / 所有冠詞を覚える 第8回 分離動詞を使って、一日の予定や一週間の予定を表現できるようになる 第9回 時刻・日付表現を覚える / ドイツ人と日本人の一日を比較する 第10回 身体の部位名称を覚える / 身繕い表現を覚える 第11回 よくかかる病気の名称を覚える / 医者や薬局での会話を覚える 第12回 ホテルを予約したり、駅で切符を買うことができるようになる 第13回 行き先を表現する前置詞を覚える 第14回 天気に関する表現を覚える / 過去のことを表現できるようになる 第15回 定期試験</p>						
キーワード	パートナー練習・聞き取り練習・ビデオ学習・個別指導					
教科書・教材・参考書	三宅/コッホ CD付き アクティブに使うドイツ語 三修社					
成績評価の方法・基準等	1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期 14 回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聞き取り、正しく書けるかどうか、2. ビデオで取り上げられた内容について、自分の知識や経験に基づいて、説得力のある的確な意見を示せるかどうか、3. 各回ごとに取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、その背景となる文法を理解し、それを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。					
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。					
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 / それによって新たな知的視野を広げること。					
備考(準備学習等)	独和辞典は授業中に必要に応じて使用することがあります。 次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。					